「よくあることだからやってもいい」のか?

~日本人のモラルに関する意識調査から~

酒井芳文

はじめに

高速道路のサービスエリアやコンビニエンスストアに備えられているゴミ箱にまで持ってきて捨てられた家庭ゴミ。電車の車内で出産間近と思われる女性が目の前に立っているのに、優先席を占領して世間話に興じる学生たち。地下鉄の駅の階段に座り込んで化粧をする若い女性…。筆者が最近みた光景である。こうした光景からは、「本当はまずいけど、これくらいならいいか…」という考え方が段々エスカレートしているのではないかと感じさせられる。

「自治体が設定しているゴミの収集日が少ないから」「混んでいる電車に乗ってくるほうが悪い」「家で化粧する時間がないし、誰にも迷惑かけていない」…。ひょっとしたらこんな風に自分なりの理屈をつけて、「まずい」行為を正当化しているのかもしれない。こうした「まずい」行為は、程度の差はあれ、誰にだって経験があるだろう。

道徳や倫理を表す言葉として「モラル」がある。この「モラル」がいま、どうなっているのかを探るため、2006年7月に「日本人のモラルに関する意識調査」を実施し、一部の結果は8月1日に放送した「クローズアップ現代〜崩壊?日本人のモラル〜」等で紹介した。

調査結果をみると、日本人のモラルについては77%が「低い」と答えた一方で、自分自身のモラルについては67%が「高い」と答えた¹⁾。また、「10年前と比べて、日本人のモラルが低くなった」と答えた人は68%に上った一方で、自分自身のモラルについては「10年前と変わらない」という人が58%で多数派を占めた。このように、他人と自分のモラルに対する評価に大きな開きがあることがわかった。

もちろん,「何がモラル違反か」は人それぞれに「基準」が違うだろう。この結果から,単純に「日本人のモラルが低下した」とはいい切れない。社会学者のアンソニー・ギデンズは,「一般に支持されている規範に違反する行為(=逸脱)は時代によっても場所によっても異なる。ある文化的状況で正常な行動が,別の文化的状況では逸脱のレッテルを貼られることがある」²⁾と指摘する。文化的状況が変われば,前に挙げた行為が"当たり前"とされることがあるかもしれない。

このように"モラル違反"の客観的な定義づけは難しいが、調査では、現代の日本でモラル違反と考えられる具体的な行為³⁾を選び、「どこまで許せるか」と「どの程度現実に行われているか」を尋ねた。本稿では、その分析によって浮かび上がった特徴的な傾向について報告する。

【「日本人のモラルに関する意識調査 | 概要】

2006年7月15日(土)から17日(月)にかけて,電話(RDD)法で実施。調査相手は全国の20歳以上の1,731人で,59.2%にあたる1.025人から回答を得た。

1. モラルの「許容度」と「現実度」

調査では、次の7種類の行為について、「絶対に許されない」から「特に問題あるとは思わない」までの4段階で受け止め方を聞いた(=「許容度」図1)。また、このうちの「ゴミ」「本」「税金」の3種類の行為については、「こうしたことは誰もやっていない」から「自分も含め、たいていの人がやっている」までの4段階で、実際に世の中でどの程度行われていると思うかを聞いた(=「現実度|図2)。

- ○電車の優先席やその近くで、携帯電話を使う(携帯)
- ○友人や会社のパソコンソフトをコピーし て個人的に使う (パソコン)
- ○公園に植えてある花を持ち帰る(公園)
- ○お店で、商品を床に落として壊してしまってもそのまま放って置く(店)
- ○家庭のゴミを指定以外の時間に捨てたり, お店や駅のゴミ箱に捨てたりする(ゴミ)
- ○図書館で借りた本を返さなかったり,書 き込みやページ破りをしたりする(本)
- ○経済的に困っていないのに、公共料金や 税金を払わない(税金)

まず、「許容度」をみると、「携帯」以外は 「絶対に許されない」が半数を超えている。「絶 対に許されない」と「どちらかといえば許さ

図1 モラル「許容度」

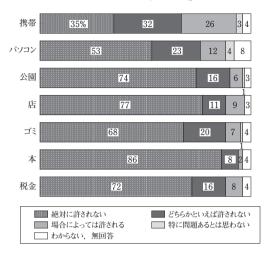


図2 モラル「現実度」



れない」をあわせて「許容度」が低い= "非許容"と考えると、「携帯」「パソコン」以外は、 実に9割前後の人たちが"非許容"であった。 「携帯」や「パソコン」の"非許容"の割合は7 割前後であり、他の項目より低い。

一方、「現実度」をみると、行為による差はあまりみられなかった。いずれの行為も圧倒的に「自分はやらないが、やっている人はいるかもしれない」と答えた人が多かった。これと「こうしたことは誰もやっていない」をあわせて「現実度」が「低い」と考えると、「現実度」も「許容度」と同じように「低い」人た

ちが多い。「許容度」は、いずれの行為もレベルが最も低い「絶対に許されない」が最も多かったが、「現実度」は2番目に低い「自分はやらないが、やっている人はいるかもしれない」が際立っているのが特徴的である。

2. 年齢層や行為による差

では、「許容度」や「現実度」は、年齢層や 行為によってどのような差があるのだろうか。 分析のため、「許容度」や「現実度」が高いほど 高得点になるよう、**表1**のように4段階の回 答に応じて1から4点をつけて集計した。

表2は、7種類の行為について各年齢層で

の「許容度」の"平均点"⁴⁾を比較したものである。一番下の「合計」は、7行為の合計の平均点である。まず「合計」をみると、年齢層が上がるほど平均点は低くなっている。つまり、「許容度」が低くなっていることがわかる。直観的にいえば、「年を重ねればモラルに対してうるさくなる。逆に、若い人ほどモラルに寛容になる」ということであろう。

次に行為別にみていく。例えば「携帯」は、20代の平均点が2.07点で、30代の平均点は2.04点である。これに対して70歳以上は1.65点と若年層に比べて0.4点前後下がっている。このように、ほとんどの行為は「合計」と同じように年齢層が上がるほど平均点は低くなっている。

表1 「許容度」と「現実度」の配点

許容度

1. 絶対に許されない	1
2. どちらかといえば許されない	2
3. 場合によっては許される	3
4. 特に問題あるとは思わない	4
5. わからない, 無回答	0



現実度

1. こうしたことは誰もやっていない	1
2. 自分はやらないが、やっている人はいるかもしれない	2
3.場合によっては、自分もしてしまうかもしれない	3
4. 自分も含め、たいていの人がやっている	4
5. わからない, 無回答	0



表 2 モラル「許容度」(行為年齢層別平均点)

	20代	30代	40代	50代	60代	70 歳以上	行為別平均
携带	2.07	2.04	1.96	1.99	2.01	1.65	1.94
パソコン	1.56	1.66	1.56	1.63	1.54	1.51	1.58
公園	1.52	1.38	1.32	1.27	1.28	1.30	1.32
店	1.19	1.22	1.29	1.31	1.39	1.31	1.30
ゴミ	1.70	1.44	1.44	1.43	1.30	1.19	1.38
本	1.22	1.13	1.16	1.11	1.10	1.10	1.12
税金	1.63	1.48	1.33	1.28	1.27	1.22	1.33
合計	10.89	10.36	10.05	10.02	9.87	9.29	9.96

[※]一番右の列の「行為別平均」は、その行為の総得点÷回答者全数。年齢層ごとに回答者数が異なるため、単純 に20代から70歳以上までの平均点の相加平均ではない。次の表3も同じ。

一方、「パソコン」の許容度は年齢層による差がほかの行為ほどみられず、「店」は逆に年齢層が上がるほど平均点が高くなっている。また、年齢層による変化の大きさも一様ではなく、20代と70歳以上を比べた場合、「ゴミ」は0.5点ほど下がっているのに対して、「本」は0.1点ほどしか下がっていない。回答者全体の行為ごとの総得点を計算すると、「携帯」や「パソコン」は比較的高い一方で「本」は低い。このように、「許容度」は年齢層や行為による差がはっきりみて取れる。

次に表3をみて欲しい。「許容度」と同じように、「現実度」の平均点を比較したものである。「合計」では、「許容度」と同じように年齢層が上がるほど「現実度」は低くなっている。若い人ほど、「モラル違反はみんながやっている」という意識が少なくないということだろう。行為別にみると、いずれも「合計」と同じような傾向になっているが、「許容度」ほどの差はみられない。表2と表3を総合すると、

若い人ほど"モラルの敷居"は低く、逆に高齢になるほど敷居は高くなっているといえる。

なお、今回の調査では「許容度」「現実度」とも、 回答者が住む自治体の人口や地域による差が あまりみられなかった。その意味では、日本人 のモラル意識は平準化されているといえる。

3. 赤信号はみんなで渡れば怖くないか

では、「許容度」と「現実度」の関係はどうだろうか。表4をみて欲しい。この表は、回答者ごとに「許容度」と「現実度」の「合計」を「高い」か「低い」かで2つに分類して⁵⁾、その関係性を示したものである。「現実度」が低い層では、97%は「許容度」も低く、全体の92%に比べて高い割合である。一方で、「現実度」が高い層では13%が「許容度」も高く、全体の5%より高い割合である。これらは統計学的にみて有意な差があり⁶⁾、現実度が高い人、つまりモラルに反する行為がよくある

	20代	30代	40代	50代	60代	70 歳以上	行為別平均
ゴミ	2.30	2.24	2.16	2.10	2.03	1.90	2.09
本	2.02	2.02	1.91	1.91	1.86	1.81	1.91
税金	2.13	2.23	2.03	2.09	1.96	1.81	2.02
合計	6.44	6.49	6.10	6.11	5.85	5.51	6.02

表 3 モラル「現実度」(行為年齢層別平均点)

表 4 「許容度」と「現実度」の関係

		全体	現象	
		三年	低い	高い
	分母=	1,025 人	757	230
	低い	92%	97	<u>87</u>
許容度	高い	5	3	13

※網掛けは全体に比べて有意に多いことを,下線は少ないことを示す (信頼度95%) 以下の表も同じ と感じている人ほど、そうした行為を容認する傾向があることが確かめられた。

逆に、「現実度」が低い人、モラルに反する行為があまりないと感じている人ほど、そうした行為を容認しないという傾向がある。

これらの関連はもちろん原因と結果の関係ではない。相互に関連性があるのであり、モラルに反する行為を容認する人ほど、そうした行為をよくあると感じているという傾向でもある。

「現実度」と「許容度」は、年齢層による違いがあったが、2つの関係を年齢層ごとに調べた結果でも、こうした傾向は確かめられた。 日本人は全体的に、モラルの「現実度」が高くなるほど「許容度」も高くなるといえる。

さらに「現実度」と「許容度」の「合計」を回答者ごとに集計して相関係数⁷⁾を計算すると、0.524になった。この結果からも、「現実度」と「許容度」はかなりの相関があるといえる。

次に、行為ごとに詳しく関係を見ていく。「ゴミ」「本」「税金」の3種類の行為について、同じように「許容度」と「現実度」の関係を示したのが表5から表7である。例えば表5の「ゴミ」については、「現実度」が低い層の95%は「許容度」も低く、「現実度」が低い層は「許容度」も高いことになる。3行為のいずれも、相対的に「現実度」が低い層は「許容度」も低く、「現実度」が高い層は「許容度」も高くなっている。このことから、行為ごとに見ても「現実度」が高くなるほど「許容度」も高くなるといえる。この傾向は、先ほどの「合計」と同じように、年齢層ごとに調べても確認されている。

「赤信号,みんなで渡れば怖くない」。80 年代初めのいわゆる"漫才ブーム"の頃,お笑 いコンビ「ツービート」が流行させたブラッ

表 5 「許容度」と「現実度」の関係(ゴミ)

		全体	現象	 実度
		土件	低い	高い
	分母 =	1,025 人	822	158
許容度	低い	88%	95	<u>75</u>
計谷及	高い	8	<u>5</u>	24

表 6 「許容度 | と「現実度 | の関係 (本)

		全体	現領	
		主体	低い	高い
	分母 =	1,025 人	932	42
許容度	低い	94%	98	<u>83</u>
計合及	高い	2	2	17

表7 「許容度」と「現実度」の関係(税金)

		全体	現象	
		主体	低い	高い
	分母 =	1,025 人	853	119
許容度	低い	88%	95	<u>66</u>
計谷 及	高い	8	<u>5</u>	33

クユーモアである。「まずい」行為®でも、「誰もがやっている」と思うほど「まあいいか」になってしまう。「誰もがやっているから」を言い訳にモラル違反に及んでしまう…。一部の行為に限った分析とはいえ、「赤信号…」に代表される人々の心理の一端を、今回の調査結果によって確認できたといえる。昨今、飲酒運転が社会問題化しているが、飲酒運転がなくならないのも、こうした心理が背景にある可能性があるといえよう。

「はじめに」で述べたように、モラルの基準は変わっていくものである。今後は、各人が胸に手を当てて、自らの「許容度」や「現実度」の変化に注意する必要があろう。

おわりに

「日本人のモラルが低下すると、社会にどのような影響をもたらすと思うか」と聞いた質問がある。その結果、「犯罪が増える」が全体の41%、ついで「正直者が損をする社会になり、モラルが一層低くなる」が30%を占めた。「モラル違反を取り締まるための法律や罰則ができ、制約が増える」とか「モラル違反の後始末のために余計な費用がかかる」という回答はそれぞれ10%程度だった。「犯罪が増える」とか「制約が増える」といった直接的な影響ばかりでなく、さらなるモラル低下を懸念する回答が少なくなかった。モラルが低下するとさらなるモラルの低下を招く…。いわば"モラルスパイラル"ともいえる状況に陥る心配がある。

「誰もがやっている」と思うことであって も、それぞれが「絶対に許さない」という基 準を持ち続けることができれば、"モラルス パイラル"の悪循環を懸念だけで済ませるこ とができるはずである。

(さかい よしふみ)

注:

- 1) ここでは、「高い」「低い」で2分類した。「高い」は選択肢の「高い」と「どちらかといえば高い」をあわせた分類。同じように「低い」も「低い」と「どちらかといえば低い」をあわせた分類である。なお、単純集計の結果は文末に掲載する。
- 2) Anthony Giddens 『社会学』(松尾精文他訳, 而立書房, 1992年)
- 3) この中には、法律に反する「違法」行為も含まれる。本稿では、「法律」と「モラル」を切り離して考えていく。
- 4) 例えば、「携帯」では、20代の回答者54人の 総得点が112点で、平均点は112÷54=2.07点 になる。同様に30代は、回答者166人の総得 点が338点で、平均点は338÷166=2.04点に なった。平均点の計算方法は次の表3の「現実 度」も同じである。
- 5)「許容度」の「合計」は、0から28(行為の最高点×行為数=4×7)までの整数のどれかになる。ここで「合計」が0とは、いずれの行為も「わからない、無回答」と答えたということなので、0は「わからない、無回答」と分類した。残りを二等分して、1から14までを「低い」、15から28までを「高い」と分類した。同様に「現実度」については、0が「わからない、無回答」、1から6までが「低い」、7から12までが「高い」と分類した。次に出てくる「ゴミ」「本」「税金」については、0が「わからない、無回答」、1と2が「低い」、3と4が「高い」と分類した。
- 6) Pearson のカイ2乗検定の結果、「許容度」と「現 実度」の関連性を否定する仮説が成立する確率 は、ほぼゼロに等しい。以下、「ゴミ」「本」「税 金」も同じ。この結果からも「許容度」と「現 実度」の関係性が高いことがいえる。
- 7) ここでは、Pearson の相関係数を採用した。
- 8) 道路交通法では、「歩行者または車両等は、信 号機の表示する信号または警察官等の手信号等 に従わなければならない」(第7条)とあり、赤 信号を渡るのはいうまでもなく法律違反になる。

「日本人のモラルに関する意識調査 |

【調査の概要】

1. 調査時期

2006年7月15日(土)~17日(月)

2. 調査相手

全国の 20 歳以上の男女 1,731 人

3. 調査方法

電話法 (RDD)

4. 回答数 (率)

1,025 人 (59.2%)

―日本人のモラルについての評価―

第1問 これから、私たちが社会で暮らす上でのさまざまな約束 事や規則、いわゆる「モラル」について、あなたのお考えを うかがいます。あなたは、最近の日本人のモラルについて、 どのように感じていますか。次に読み上げる中から1つ選ん でお答えください。

1. 高い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5.3	%
2. どちらかといえば高い ・・・・・・・・・ 12.4	
3. どちらかといえば低い 41.9	
4. 低い ・・・・・・・・・ 35.5	
5. わからない,無回答5.0	

―日本人のモラル・10年前と比べてどうか―

第2問 それでは、10年前と比べて考えた場合、どのように変わったと思いますか。次に読み上げる中から1つ選んでお答えください。

1. 高くなった ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7.0	
2. 変わらない ・・・・・・・・ 21.2	
3. 低くなった ・・・・・・・・・・・・・・・・ 67.6	,
4. わからない,無回答 ・・・・・・・・・・4.2	

―自分自身のモラル意識―

第3問 次に、あなたご自身のことについてうかがいます。あなたご自身の現在のモラルについては、どのように感じていますか。次に読み上げる中から1つ選んでお答えください。

1. 高い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11.0	
2. どちらかといえば高い ・・・・・・ 56.4	
3. どちらかといえば低い ・・・・・・・ 22.1	
4. 低い ・・・・・・・・・・・・・・・・・6.0	
5. わからない,無回答4.4	

―自分自身のモラル・10 年前と比べてどうか―

第4問 それでは、10年前と比べて考えた場合、どのように変わったと思いますか。次に読み上げる中から1つ選んでお答えください。

答えください。	
1. 高くなった ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20.5 %
2. 変わらない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	57.5
3. 低くなった ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18.4
4. わからない,無回答	3.6

―モラルに関わる具体的な事例 その許容範囲―

第5 問 では次に、モラルの評価に関係するいくつかの具体的な行為についてお尋ねします。あなたは、こうした行為に対してどのようにお考えですか。それぞれについて次に読み上げる中から1つ選んでお答えください。

%	絶対に許されない	許されないといえば	2	思わない特に問題あるとは	わからない,無回答
A. 電車の優先席やその近く で、携帯電話を使う	35.0	31.8	26.2	2.7	4.2
B. 友人や会社のパソコンソフト をコピーして個人的に使う	53.4	22.8	12.2	4.4	7.2
C. 公園に植えてある花を持ち 帰る	74.0	15.9	5.6	1.4	3.2
D. お店で、商品を床に落として壊してしまって そのまま放って置く	76.5	10.7	8.9	0.2	3.7
E. 家庭のゴミを指定以外の時間に捨てたり、お店や駅のゴミ箱に捨てたりする	67.9	20.4	7.0	0.9	3.8
F. 図書館で借りた本を返さなかったり、書き込みやページ破りをしたりする	86.1	7.6	2.2	0.1	3.9
G. 経済的に困っていないのに、公共料金や税金を払わない	72.0	15.5	8.0	0.4	4.1

―実際にありえる行為かどうかの感覚―

第6問 次に、今取り上げた行為の中から、3つの行為について改めてお尋ねします。あなたは、こうした行為は、実際に世の中でどの程度おこなわれていると思いますか。読み上げる中から、あなたのお気持ちに最も近いものを1つ選んでお答えください。

%	誰もやっていない	いる人はいるかもしれない自分はやらないが、やって	てしまうかもしれない場合によっては、自分もし	たいていの人がやっている自分も含め、	わからない,無回答
A. 家庭のゴミを指定以外の時間に捨てたり、お店や駅のゴミ箱に捨てたりする	6.9	73.3	13.8	1.7	4.4
B. 図書館で借りた本を返さ なかったり、書き込みや ページ破りをしたりする	12.1	78.8	3.5	0.6	5.0
C. 経済的に困っていない のに、公共料金や税金 を払わない	8.3	74.9	10.5	1.1	5.2

―モラル低下の原因(第一番目)―

第	7問 日本人のモラルが低下しているとすれば,それは何故だ
	と思いますか。考えられる原因について、最もあてはまるも
	のを、次に読み上げる中から1つ選んでお答えください。
	1. 損得や効率ばかりが優先され,
	モラルに気を配る余裕がなくなっているから … 15.0 %
	2. 家庭や学校で「やっていいこと」「いけないこと」
	を教えていないから
	3. 人と人との関係が薄くなり、
	周りの人に配慮しなくなっているから 32.1
	4. 政治家や経営者など、地位の高い人が
	モラルに反することをしているから 13.0
	5. 努力しても報われず,決まりを真面目に守っても
	評価されない社会だから ‥‥‥‥‥‥‥4.5
	6. 日本人のモラルが低くなったとは思っていない ‥1.4
	7. この中にはない ・・・・・・・・・・・・・・0.4
	8. わからない,無回答5.9

―モラル低下の原因(第二番目)―

第8問[問7で「1~5」と回答した方に]

では、もう1つ選ぶとしたらどれでしょうか。

1. 損得や効率ばかりが優先され、

モラルに気を配る余裕がなくなっているから · 14.8 %

2. 家庭や学校で「やっていいこと」「いけないこと」を 教えていないから18.3

3. 人と人との関係が薄くなり、

周りの人に配慮しなくなっているから ……… 25.6

4. 政治家や経営者など、地位の高い人が

モラルに反することをしているから ……… 21.4

5. 努力しても報われず、決まりを真面目に守っても 評価されない社会だから ・・・・・・・・ 15.7

6. この中にはない ・・・・・・・1.2

7. わからない, 無回答 ……………3.1

分母 =947 人

―モラル低下がもたらす影響―

第9問 日本人のモラルが低下すると、社会にどのような影響 をもたらすと思いますか。次に読み上げる中から1つ選ん

でお答えください。
1. 犯罪が増える ・・・・・・・・・・・・・・・ 40.8 %
2. 正直者が損をする社会になり,
モラルが一層低くなる 30.1
3. モラル違反を取り締まるための
法律や罰則ができ,制約が増える ・・・・・・・ 11.1
4. モラル違反の後始末のために
余計な費用がかかる
5. 特に影響はない0.8
6. この中にはない0.8

7. わからない,無回答 ………………6.4

サンプル構成

Λ H-	性	別				年 齢 層	3		
全 体	男 性	女 性	20代	30代	40代	50代	60代	70 歳以上	無回答
1,025 人	452	573	54	166	174	193	207	185	46
100.0 %	44.1	55.9	5.3	16.2	17.0	18.8	20.2	18.0	4.5

	男の年齢層						女の年齢層							
20代	30代	40代	50代	60代	70 歳以上	20代	30代	40代	50代	60代	70 歳以上	無回答		
27	66	79	86	92	83	27	100	95	107	115	102	46		
2.6%	6.4	7.7	8.4	9.0	8.1	2.6	9.8	9.3	10.4	11.2	10.0	4.5		

		職	業		
農林 漁業	自営	勤め人	主婦	無職	学生 その他, 無回答
26	103	380	265	200	51
2.5%	10.0	37.1	25.9	19.5	5.0

都 市 規 模							地域ブロック				
政令指定 都市	人口 30 万 以上の市	人口 10 万 以上の市	人口 10 万 未満の市	町村	無回答	北海道 東北	関東 甲信越	東海 北陸	近畿	中国 四国九州	
282	190	215	201	94	43	125	373	144	170	213	
27.5%	18.5	21.0	19.6	9.2	4.2	12.2	36.4	14.0	16.6	20.8	